

CLIPPEDIMAGE= JP409074903A

PAT-NO: JP409074903A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09074903 A

TITLE: GARDEN FENSE

PUBN-DATE: March 25, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

WATANABE, SHUKICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK I BEAM

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP07266273

APPL-DATE: September 19, 1995

INT-CL (IPC): A01G001/08;E04H017/16

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve varieties for selecting a design of a garden fence formed of one-piece molding of a resin.

SOLUTION: This garden fence is obtained by forming a fence member 1 composed of a fence part 1 equipped with a frame-like part 13 and a leg part 14 protrusively provided under the fence part 1 and detachably installing a decorative member 2 formed independently from the fence part 1 in the frame-like part 13 of the fence. The varieties for selecting a design of the fence member 1 are improved by selectively attaching the decorative member 2.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-74903

(43) 公開日 平成9年(1997)3月25日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 0 1 G 1/08			A 0 1 G 1/08	
E 0 4 H 17/16	1 0 1		E 0 4 H 17/16	1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-266273

(22) 出願日 平成7年(1995)9月19日

(71) 出願人 594121431

株式会社アイビーム

新潟県燕市大字小池3317番地

(72) 発明者 渡邊 修吉

新潟県燕市大字小池3317番地 株式会社ア

イビーム内

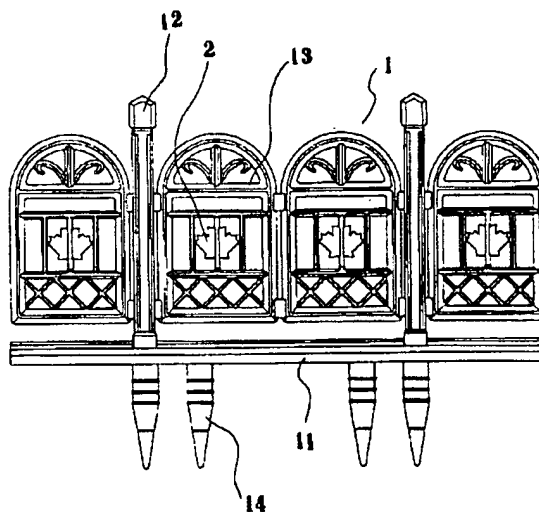
(74) 代理人 弁理士 近藤 彰

(54) 【発明の名称】 ガーデンフェンス

(57) 【要約】

【課題】 樹脂一体成形で形成されるガーデンフェンスのデザインの選択多様性を実現する。

【解決手段】 枠状部13を備えたフェンス部と、フェンス部下方に突設した脚部14からなるフェンス部材1を形成し、前記フェンス部の枠状部13内に、フェンス部材と別に成形した飾り部材2を着脱自在に設け、飾り部材2の選択装着で、多様性を実現する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 枠状部を備えたフェンス部と、フェンス部下方に突設した脚部からなるフェンス部材を形成し、前記フェンス部の枠状部内に、フェンス部材と別に成形した飾り部材を着脱自在に設けたことを特徴とするガーデンフェンス。

【請求項2】 請求項1記載のガーデンフェンスに於いて、適宜大きさに形成したフェンス部の枠状部の上下部に軸受透孔を形成し、飾り部材の左右中心の上下に、前記軸受透孔に嵌挿できる装着軸を設けてなることを特徴とするガーデンフェンス。

【請求項3】 請求項1記載のガーデンフェンスに於いて、フェンス部両端部分に、上下面を備えた凹部を形成すると共に、凹部内の上下面何れか若しくは両方に小突起を設け、左右に前記凹部に嵌合する圧入部を備えると共に、圧入部に小突起が嵌合する嵌合孔を設けた連結体で、隣接ガーデンフェンスを互いに連結してなることを特徴とするガーデンフェンス。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、花壇の縁取りに使用するガーデンフェンスに関するものである。

【0002】

【従来の技術】花壇の縁取りには、土留めとして一般に煉瓦が使用され、更に誤って踏み込まないように柵（小型フェンス）が使用されている。この小型のフェンスは、木製や竹製の他、樹脂で一体成形したものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、樹脂製の一体成形タイプのフェンスを採用した場合には、成型型が相応に大きく、成型型の経費を考慮すると、柵の模様形状が一定してしまい、異なるデザインのものを供給しようとする、コスト的に見合わなくなってしまう。然し使用者にとっては、多少のデザインの選択の余地があるほうが望ましい。そこで本発明は、成型型によるコストアップを抑えながらフェンスのデザインの多用性を獲得できるガーデンフェンスを提案したものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明に係るガーデンフェンスは、枠状部を備えたフェンス部と、フェンス部下方に突設した脚部からなるフェンス部材を形成し、フェンス部の枠状部内に、フェンス部と別に成形した飾り部材を着脱自在に設けたことを特徴とするものである。

【0005】また特に前記のガーデンフェンスに於いて、適宜大きさに形成したフェンス部の枠状部の上下部に軸受透孔を形成し、飾り部材の左右中心の上下に、前記軸受透孔に嵌挿できる装着軸を設けてなることを特徴とするものである。

【0006】従って多種類の飾り部材を用意しておき、

2

飾り部材の選択装着で、所望のデザインのガーデンフェンスを形成することができる。

【0007】また特に飾り部材を軸装すると、飾り部材が風で回転するので、その選択デザインの幅が広がる。

【0008】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態について説明する。実施形態として示したガーデンフェンスは、フェンス部材1と、飾り部材2と、連結体3とで構成されるものである。

【0009】フェンス部材1は樹脂一体成形で形成されるもので、その形状は、下部横杆11に適宜間隔で立設した複数の縦杆12間及び縦杆12の外側方に、適宜に模様形状の枠状部13からなるフェンス部と、下部横杆11の下方に突設した脚部14からなり、特に各枠状部13内適宜な枠a内に於いて、その上下部分の内側面に、軸受透孔15、16を設け、更に両端に位置する枠状部（フェンス部）13の端部裏面側に、上下の水平面17を備えた凹部18を形成すると共に、凹部18内の水平面17に、凹部18内に突出する小突起19を設けてなるものである。

【0010】飾り部材2は、所望形状に形成した飾り板部21の上下に、前記軸受透孔15、16に対応した装着軸22、23を設け、特に上部装着軸22は長くし、下部装着軸23には鍔部24を付設する。

【0011】また連結体3は、連結板部31の両側方に、凹部18の水平面17間に密嵌する大きさの圧入部32を設けると共に、圧入部32に小突起19と対応する嵌合孔33を設けてなるものである。

【0012】而してフェンス部材1に、飾り部材2を装着するもので、飾り部材2の上部装着軸22を上部軸受透孔15に深く差し込み、下部装着軸23を枠a内に位置させた後下部軸受透孔16に落とし込み、鍔部24を下部軸受透孔16の縁に当接させて、飾り部材2をフェンス部材1に装着するものである。

【0013】従って、フェンス部材1への飾り部材2の装着に際して、飾り部材2はフェンス部材と別成形で形成するものであるから、異なる色彩に形成することができ、飾り部材2の選択で多様なデザインのガーデンフェンスを得ることができる。特に前記実施形態のように飾り部材を回転可能に装着すると、動きのあるガーデンフェンスを得ることができ、更に、飾り部材2に光反射板を採用すると、鳥除けや、猫除けとしても機能する。

【0014】また前記のガーデンフェンスは、花壇の縁の地面A若しくは、花壇の土留め部材の上面等に直立させるもので、花壇の周囲に複数のガーデンフェンスを連ねて設置すると同時に、隣接するガーデンフェンスは、それぞれの両端に形成した各凹部18に、連結体3の左右の圧入部32をそれぞれ圧入嵌合すると、小突起19が嵌合孔33に嵌合して掛止され、隣接するガーデン

3

4

フェンスは接続され、全体の強度が高められるものである。

【0015】

【発明の効果】以上のように本発明は、棒状部を有するフェンス部と、フェンス部下方に突設した脚部からなるフェンス部材を形成し、フェンス部の棒状部内に、フェンス部と別に成形した飾り部材を着脱自在に設けたガーデンフェンスで、フェンス部材と別に形成される飾り部材の形状色彩の選択装着で、多様なデザインのガーデンフェンスを容易に得ることができたものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示す全体の正面図。

【図2】同飾り部材の装着状態の説明図。

【図3】同フェンス部の連結箇所の説明図。

【図4】同連結体の斜視図。

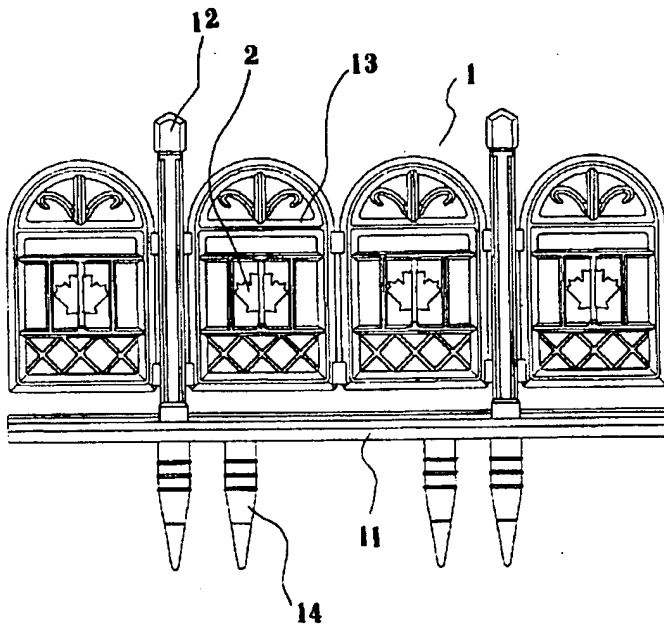
【図5】同連結体による連結説明図で、(イ)は連結前、(ロ)は連結後を示す。

【図6】同設置状態の説明図。

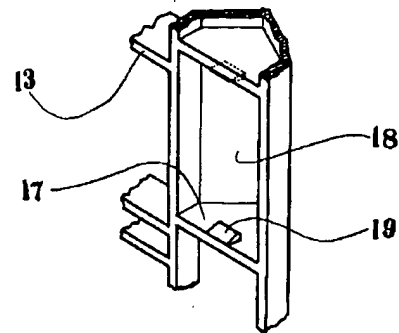
【符号の説明】

- 1 フェンス部材
- 11 下部横杆
- 12 縦杆
- 13 棒状部
- 14 脚部
- 15 上部軸受透孔
- 16 下部軸受透孔
- 17 水平面
- 18 凹部
- 19 小突起
- 2 飾り部材
- 21 飾り板部
- 22 上部装着軸
- 23 下部装着軸
- 24 鋳部
- 3 連結体
- 31 連結板部
- 32 圧入部
- 33 嵌合孔

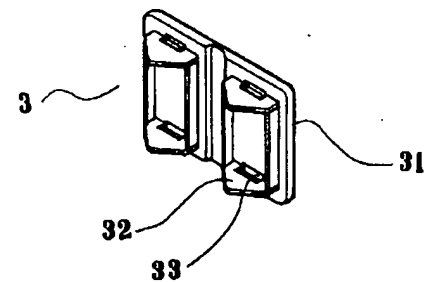
【図1】



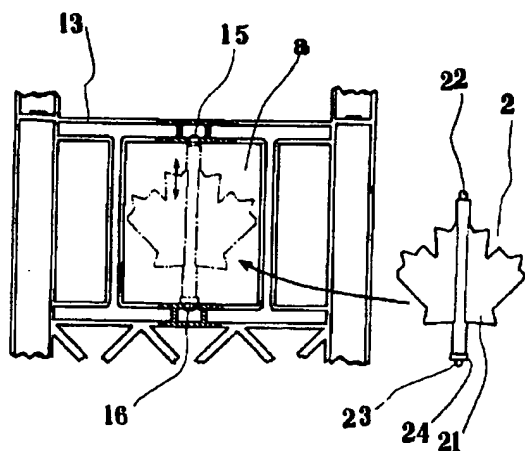
【図3】



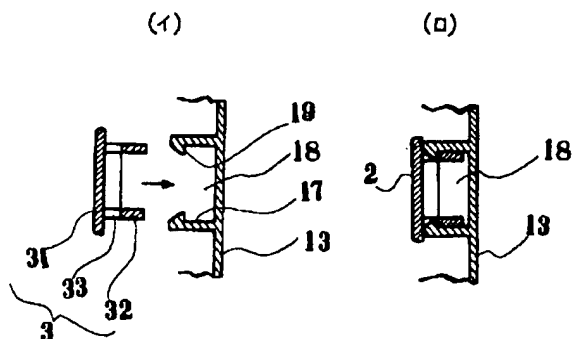
【図4】



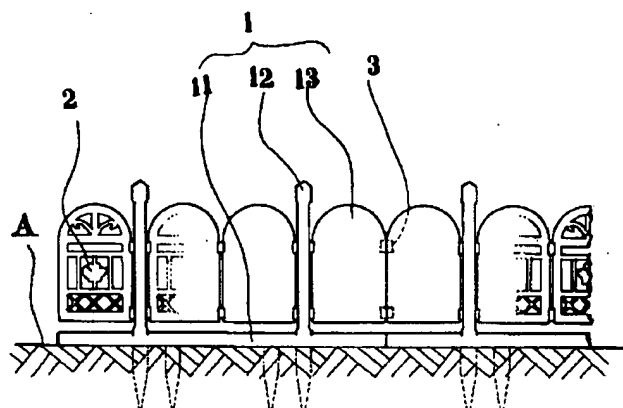
【図2】



【図5】



【図6】



## 【手続補正書】

【提出日】平成7年10月24日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項3】 請求項1記載のガーデンフェンスに於い

て、フェンス部両端部分に、上下面を備えた凹部を形成すると共に、凹部内の上下面何れか若しくは両方に小突起を設け、左右に前記凹部に嵌合する圧入部を備えと共に、圧入部に前記小突起が嵌合する嵌合孔を設けた連結体で、隣接ガーデンフェンスを互いに連結してなることを特徴とするガーデンフェンス。